

必ずお読みください

©2021 ELECOM CO., LTD. All rights reserved

本製品の設置

**注意**

施工上のご注意
本製品（AC電源モデル）の配線工事は「電気設備の技術基準」および「内線規定」に基づき【電気工事士】の有資格者が必ず施工してください。
また、電話線の配線は【工事担当者】の有資格者が必ず施工してください。
無資格者の設置・施工作業によって発生した損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。

本製品は、コンセントボックス内に設置することを想定した設計です。
コンセントボックスおよび関連配線についての施工が完了していない状態の場合は、別途工事等を行ってください。

■ 本製品の設置条件

- ・壁に本製品を収容可能なコンセントボックスの準備ができています。
 - ・本製品用の屋内用電源配線が敷設されている。
 - ・上位HUBと接続可能なLANケーブルが配線されている。
 - ・電話回線に接続可能なモジュラーケーブルが配線されている。(電話ポート使用時)
- ※本製品をアクセスポイントモードでご利用になる場合はインターネット接続が可能なルーターなどを上位側にご利用ください。
インターネット接続用のルーターなどをLAN接続していない状態で本製品の設置を実施ください。
本製品設置後にルーターなどをLAN接続し、インターネット接続可能であることを確認してください。
※設置を行う前に、電源(ブレーカー)をOFFにしておいてください。

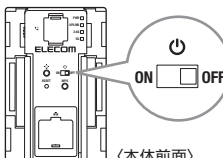
■ 設置場所について

次のような場所には設置しないでください。火災や故障、感電による怪我などの原因になります。
・ 熱器具や高熱を発するものの近く、直射日光が当たる外壁の内側など、高温になる場合がある場所
・ 水などの液体がかかる恐れのある場所 ・ 腐食性ガスが発生する可能性のある場所

1 本製品前面にある電源スイッチを最初にOFFにします。

**注意**

設置は、必ず本製品の電源スイッチをOFFにした状態で実施してください。
ON状態で設置を行うと電源ケーブルまたはLANケーブル接続時に火花が発生し、火傷などの怪我や、火災の原因となる場合があります。



（本体前面）

2 電源ケーブル、LANケーブル、TELケーブルを接続します。

**注意**

① 屋内配線用電源ケーブルの先端10mmを出し、電源接続部に挿し込みます。

② LANケーブルをLANポートに接続します。

③ TELケーブルの先端8～9mmを出し、TEL接続端子に挿し込みます。

「電源ケーブル」と「LAN/TELケーブル」は接触禁止

屋内配線用電源ケーブル

電源接続部

LANケーブル

LANポート

TELケーブル

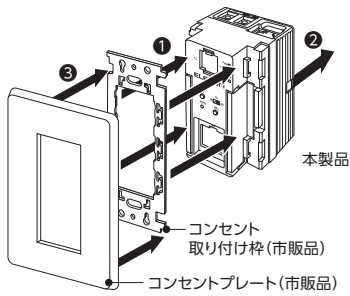
（本体下部）

TEL接続端子

内線規定にて低圧配線と弱電流電線との離隔が規定されており、本製品ユニットへのLAN/TELケーブルと電源ケーブルの接続時は、双方のケーブルが接触しないよう間隔を空けて配線処理を行ってください。
※ 万が一、情報コンセントボックス内設置時におけるケーブル余長等の都合により電源ケーブルとLAN/TELケーブルが施工上、接触する恐れがある場合は、市販の保護シース等を用いてLAN/TELケーブルを巻くように保護して離隔してください。

3 コンセントボックス内に設置します。

- ① 本体前面側より、ご使用になるコンセント取り付け枠をはめ込みます。
- ② コンセントボックスに本製品を取り付けます。
- ③ コンセントプレートを取り付けます。



4 電源（ブレーカー）をONにした後、本製品の前面にある電源スイッチをONにします。本製品のLEDが右記の状態になっていることを確認します。（起動完了まで約1分程度かかります）

**注意**

電源（ブレーカー）をONにした後、本製品の前面にある電源スイッチをONにします。

ON OFF

（本体前面）

PWR 点灯
UPLINK 点滅
2.4G 点灯
5G 点灯

管理画面にアクセス

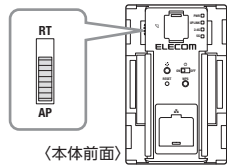
本手順では本製品をスタンドアローン環境で設定する場合の手順で説明しています。
DHCP環境で設定される場合は、初期導入向けのアクセスポイント検索ツールもご用意しております。

詳しくは下記ページの「マニュアル」→「[初期導入向け検索ツール] 法人向け無線アクセスポイント検索ツール WAB-MAT Lite」をご確認ください。
<https://www.elecom.co.jp/products/WAB-MAT.html>



1 本製品の動作モードを確認します。

本製品を設置する環境に応じていずれかの位置にスイッチを切り替えます。
RT：本製品をルーターとして使用する場合。
AP：本製品をアクセスポイントとして使用する場合。

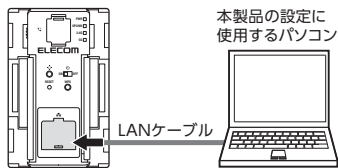


**注意**

動作モードを切り替えるときは、必ず本製品の電源を切った状態でスイッチをスライドし、電源を入れなおしてください。

2 本製品の設定に使用するパソコンをLAN接続します。

本製品のLANポートに、設定に使用するパソコンをLANケーブルで接続します。



3 本製品をAPモードで使用する場合、設定に使用するパソコンのネットワークを設定します。

本製品の設定に使用するパソコンのネットワークを右のように設定します。

IPアドレス	192.168.3.2
サブネットマスク	255.255.255.0

4 設定画面へアクセスします。

パソコンでWebブラウザを起動し、アドレスバーにIPアドレス[192.168.3.1]を入力します。



**注意**

「192.168.3.1」は、初期設定時にDHCPサーバーからIPアドレスを取得しない場合に本製品が自己設定するIPアドレスです。DHCPサーバーからIPアドレスを取得した場合やアドレス設定変更済みの場合は、そのIPアドレスを入力してアクセスしてください。設定用パソコンのIPアドレスも、セグメントを合わせて設定してください。

5 ユーザー名に[admin]、パスワードに「管理者情報シート」に記載された「管理者パスワード(初期値)」の8ケタ英数字を入力し、「ログイン」ボタンをクリックします。

ログイン

http://192.168.3.1

ユーザ名 admin

パスワード

管理者情報シート (本製品に付属しています)

型番	WAB-S1167IW-AC
S/N	YMLJJJJXXXXXA
MACアドレス 【初期値】	123456ABCDEF
管理者パスワード 【初期値】	XXXXXXXX

設定画面が表示されます。



主な設定

■ IPアドレスの設定

本製品の管理画面にアクセスするIPアドレス設定は初期設定では「DHCPクライアント」となっています。上位に設置したDHCPサーバーから割り当てられるIPアドレスで利用する場合は、設定変更不要です。

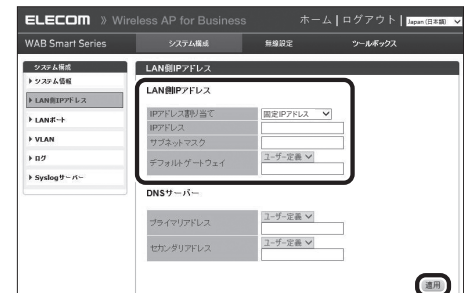
1 設定画面上部の「システム構成」をクリックします。



2 「LAN側IPアドレス」をクリックします。



3 「IPアドレス割り当て」を「固定IPアドレス」に変更し、「IPアドレス」「サブネットマスク」「デフォルトゲートウェイ」を入力後、「適用」をクリックします。



4 設定が保存され再起動が行われます。カウントダウンが始まりますので、しばらくお待ちください。

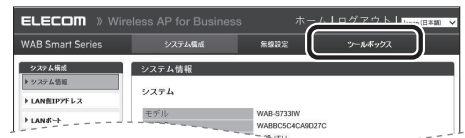
**注意**

IPアドレス設定変更後、設定画面にアクセスする際は、新しく設定したIPアドレスを利用してください。

その他の詳細設定については、製品ページよりユーザーズマニュアルをご確認ください。

■ 管理者情報の設定変更

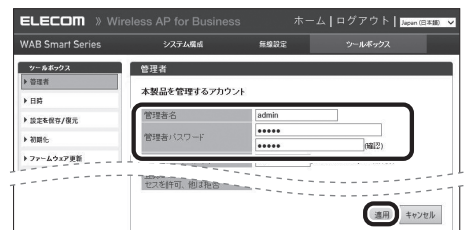
1 設定画面上部の「ツールボックス」をクリックします。



2 「管理者」をクリックします。



3 新しい「管理者名」と「管理者パスワード」、確認用の「管理者パスワード」を入力後、「適用」をクリックします。



● 使用可能な文字

管理者名	半角英数字および「-」で4～16文字
管理者パスワード	半角英数字および半角記号で1～32文字

4 設定が保存され再起動が行われます。カウントダウンが始まりますので、しばらくお待ちください。

**注意**

次回以降設定画面にアクセスする際は、新しい管理者名・パスワードを利用してください。

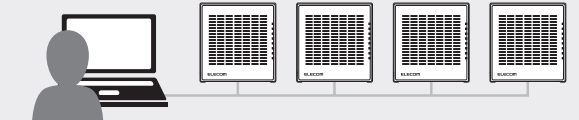
複数台を一括設定できる、WAB-MATユーティリティにも対応。

アクセスポイント複数台を一括管理 効率的な運用を実現！

● 1人の管理者で効率的に一括管理することが可能

エレコム製アクセスポイントを一括で管理することが可能です。
(最大3000台管理可能^{※1}) また、設定も一括で行なうことができ、1人の管理者で効率的な運用が可能です。

※1:推奨1000台



管理ソフト「WAB-MAT」の対応状況は、下記製品ページの「対応機種」にてご確認ください。
<http://www2.elecom.co.jp/business/products/WAB-MAT.html>

● 仮想化サーバーに対応

コンピュータの仮想化用ソフト、VMwareやVirtual BOXに対応しており、仮想化サーバー上でも使用することができます。

